

ヤマビルについて

—正しく知って、上手につき合みましょう—

千葉県立君津亀山青少年自然の家

🦎 ヒルとは

- 体長25－35mm。
吸血すると倍以上の大きさになる。
- 晴天時には地上の落葉や土の下に潜っている。
雨降り、雨あがりのような多湿時に活発に動く。
草木の生い茂った所、日陰、ジメツとした所が好き。
- 出現が多い時期は5月－12月頃まで。
それ以外の時期でも気温15℃以上で多湿であれば出てくる。



ヤマビル成体

🦎 豆知識

- 生涯の吸血回数が多いもので8回ほど。吸血して成体にならないと、産卵ができない。
- ちなみに、血を吸って親は一ヶ月後に産卵するが、その卵は透明でキラキラしていて神秘的に美しいとか。

🦎 予防 —森へ出かける前に対策を！—

① 足元の完全ガード —肌を出さないようにとにかく隠す！—

長ズボンを着用し、靴下の中にズボンの裾を入れます。
さらにその上に長くつをはくと完璧です。

② 足元に虫よけスプレーを吹きかける —ヒルが上ってくるのを防ぐ！—

ヒルは虫よけスプレーが苦手です。靴から靴下にかけて、スプレーしてお出かけください。

③ 肌をできるだけ出さない、あるいは虫よけスプレーを！

肌の露出を避けるため、長袖・長ズボンがよいです。

しかし夏場など、過度の対策をして熱中症にならないようにしてください。肌を出す場合、虫よけスプレーをしていくと効果があります。

④ 森に出かけるときには虫よけスプレーを持参 —噛まれたらスプレー！—

スコアオリエンテーリングなどの班活動では、班ごとにお持ちいただくことをおすすめします。

⑤ ヒルをはがした後の処置 —あまりかゆくならないために—

- ①傷口から血を押し出し、ヒルの体液（ヒルジン。血を流しやすくする）を洗い流す。
- ②水で傷口を洗い流して消毒する。
- ③絆創膏を貼って止血する（入浴後は絆創膏を貼りかえてください）

※人によって、血の出方や噛まれた後のかゆみは違います。虫刺され用の軟膏やかゆみ止めを使用する場合は、噛まれた方のアレルギーや薬に対する抗体等をご確認ください。

蚊に刺された場合と同じで、かゆいからとかいては、治りが遅くなり痕に残りやすくなります。

🦎 最後に

確かに見た目や動きは不気味ですが、**危険な生き物ではありません**。慣れれば親近感すらわいてきます。彼らもまた、君亀の自然の一部です。ヒルに怯えることなく、きみかめの豊かな森で充実した活動を行ってください♪